
お泊りの夜に・・・～コナンside～

音符

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お泊りの夜に・・・コナンスide

【Nコード】

N9451E

【作者名】

音符

【あらすじ】

比較的、お泊りの夜に・・・と同じです^^コナン目線です・

俺の名前は工藤新一。

けど今はA P T X 4 8 6 9という薬を飲んで体が幼児化してしまい、江戸川コナンとして生きている。

俺には今、付き合ってる奴がいる。

灰原哀っていう俺と同じA P T X 4 8 6 9という薬を飲んで体が幼児化してしまった元黒の組織の人間だ。本名は宮野志保。

組織を壊滅させた俺達は中学2年生になっていた。

〇。〇。〇。〇。〇。

今は夏休み。俺は哀の家に来ていた。

哀

「コナン、コーヒー入れたんだけど・・・飲む？」

コ

「お、サンキュー哀」いつもの当たり前の光景。ちなみに阿笠博士はというと学会で九州まで行って明後日まで帰って来ないらしい。まあ、それで心配した俺が泊まりに来ただけだな。

コ

「そろそろ夕食の時間だな」

哀

「そうね。今作るから待ってて」

哀が夕食を作ってる間、俺は推理小説を読んでいた。

哀

「コナン、夕食出来たわよーっ」

コ

「ああ、今行く」

俺達は仲良く夕食を食べ終わると、ソファでくつろいでいた。

コ

「哀・・・俺今すつごく幸せだ。哀の手料理食べられて、哀とこうして一緒に居られて」

哀

「コナン・・・私も幸せよ。貴方と一緒に居られて」

コナンは哀の唇にそっと自分の唇を重ねた。その後俺達は順番に風呂に入り寝る準備をした。

哀

「おやすみ、コナン」

と、哀が言って出て行ったけど、眠れそうになくて哀の部屋へ向かった。

ガチャリ、と哀の部屋のドアをあけると、哀がベッドの上で本を読んでいた。コ

「哀・・・お前まだ起きてたのか？」

哀

「ええ・・・なかなか眠れなくて」

コ

「じゃあ俺と一緒に寝てやろうか？」

哀

「えっ・・・??？」

俺は哀の返事を聞く前に哀をベッドに押し倒していた。

哀

「きゃっ！！！！な、何するのよコナンっ！！」

哀が抗議の声を上げたが俺は構わず哀を押さえ付け、哀の唇に口付けた。哀

と言われたが

コ

「いいだろ、別に・・・」

と、言い張る。

哀

「／／／分かったわよ。・・・私も貴方が大好きよ。・・・愛してるわ」

俺はさつきより赤い顔をしている哀がさらに可愛くなって、哀の顔中にキスをした。

その後俺達は、仲良く一緒にベッドで添い寝をした。

- E N D -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9451e/>

お泊りの夜に・・・～コナンside～

2011年2月1日04時36分発行